

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0156

平成31年度行政事業レビューシート (内閣府)											
事業名		産業遺産情報センター整備・運営に必要な経費			担当部局庁	地方創生推進事務局			作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし		担当課室	地方創生推進事務局			参事官 小山 竜司		
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)					関係する計画、通知等	まち・ひと・しごと創生基本方針2017 (平成29年6月9日閣議決定) まち・ひと・しごと創生総合戦略(2017 改訂版) (平成29年12月22日閣議決定) まち・ひと・しごと創生基本方針2018 (平成30年6月15日閣議決定) まち・ひと・しごと創生総合戦略(2018 改訂版) (平成30年12月21日閣議決定)					
主要政策・施策	観光立国、地方創生				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成27年7月の世界遺産委員会において世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に対する、世界遺産委員会からのインタープリテーション(展示)戦略に関する勧告を踏まえるとともに、総合的な情報発信や人材育成のための拠点として産業遺産情報センターを整備・運営することで、多様な地域の文化資源等を活用した観光の振興を図る。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成27年7月の世界遺産委員会において世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に対する、世界遺産委員会からのインタープリテーション(展示)戦略に関する勧告に対応するため、国内外の有識者等からの指導・助言等を得ながら、総務省第二庁舎別館の一部を活用して、世界遺産や産業遺産に関する科学的・技術的知見に基づいた、情報提供や人材育成のための総合的な拠点として産業遺産情報センターを整備・運営する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	387	412	371				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	245	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 245	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	142	657	371				
	執行額		0	0	142						
	執行率(%)		-	-	100%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	37%						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由						
	地方創生推進委託費		400	361							
	庁費		11	9							
	職員旅費		1	0.7							
	委員等旅費		0	0.2							
	諸謝金		0	0.1							
	計		412	371							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と28～30年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標				インフォメーションセンターとしての機能を有する施設の改修等及び運営を行うものであるため。						
					世界遺産委員会の勧告等への対応に向けたプロセスの実施・インフォメーションセンターの整備及び運営						
	代替目標		代替指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 31 年度	目標最終年度 - 年度
	世界遺産委員会の勧告等への対応に向けたプロセスの実施		施設整備状況 実施＝1、未実施＝2 30年度:外装工事 31年度:内装工事 32年度以降:運営委託		実績		-	-	1	-	-
				目標値		-	-	1	1	-	
				達成度	%	-	-	100	-	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	産業遺産の情報発信等のための施設の整備に係る工事	活動実績	件	-	-	1	-	-
		当初見込み	件	-	-	1	1	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	産業遺産の情報発信等のための施設の運営に係る委託	活動実績	件	-	-	-	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	1	1
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
	執行額(X) / 発注回数(Y)	単位当たりコスト	千円	-	-	142	657	
		計算式	千円/回	-	-	142/1	657/1	

事業所管部局による点検・改善

	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	産業遺産情報センターの設置は、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録時の世界遺産委員会の勧告への対応事項であり、国民や社会のニーズを適切に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	産業遺産情報センターは、世界遺産委員会の決議における勧告に対して、日本政府として設置を約束した事項であり、地方自治体や民間等には委ねることができない事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	産業遺産情報センターの設置については、関係府省連絡会議や有識者による検討会の意見も踏まえた検討がなされているところであり、必要かつ適切な事業である。また、世界遺産委員会に提出した保全状況報告書には平成31年度中を目途に開館としているため、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定にあたっては、一般競争入札（総合評価）を実施し、競争性を確保しながら、支出先を選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-
	不用率が高い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-
	繰越額が高い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○	展示内容と調整が必要となるスイッチや照明等の工事が、当初未契約であるとし、展示内容の決定後、それにあわせた設計や積算に時間を要するため。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		○	世界遺産委員会の決議においてなされた、「勧告g）インタープリテーション（展示）戦略の策定」に関しては内閣官房で実施したところであるが、それに基づいた情報提供を行う「産業遺産情報センター」の設置・運営は内閣府で実施する。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	内閣官房	0018	地域活性化推進経費	
点検・改善結果	点検結果	産業遺産情報センターの設置場所における外壁改修、建具改修、防水改修、電気設備改修、機械設備改修など、世界遺産委員会の勧告への対応事項である産業遺産情報センターの設置に向けて必要なプロセスが着実に遂行されている。		
	改善の方向性	改修工事や整備にあたっての効率的な予算執行を図る。		

外部有識者の所見							
産業遺産情報センターの設置場所は産業遺産の多くが集積する西日本からは遠く離れており、また利便性も高くないようであるが、せっかくの施設であるので、ぜひとも有効に活用していただきたい。重要なことは整備する施設が利用価値の高い施設であることである。予算の効率的執行に過度にとらわれることにより、利便性を阻害することのないよう期待する。なお、施設のなかには端島をはじめ老朽化が著しい施設も含まれることから、まずは記録保全について、万全を期していただきたい。							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業について、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	本センターでは、ユネスコ世界遺産委員会からの勧告に対応するため、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産価値や各サイトの歴史全体について理解できるよう情報発信を行うほか、産業遺産の管理保全に関する調査なども行う予定であり、産業遺産の理解促進や管理保全に資する利用価値の高い施設として整備・運営を行う予定である。なお、本センターの設置場所については、「明治日本の産業革命遺産」が全国に立地する23の構成資産全体で1つの世界遺産価値を有する世界遺産であることなどから、全国の情報を集約して発信する拠点としてふさわしい国の玄関口である東京都内としている。						
備考							
-							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	新30-0014
平成30年度	内閣府（新30-0017）						
※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。							
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	内閣府 142百万円 (インフォメーションセンター施設整備) ↓ 【支出委任】 国土交通省 ↓ 【総合評価入札】 A.飛島建設株式会社 142百万 (外壁改修、建具改修、 内装改修、防水改修、 電気設備改修、機械設備改修)						

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.飛島建設株式会社			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	施設整備費	外壁改修、建具改修、内装改修、防水改修、電気設備改修、機械設備改修	142			
	計		142	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	飛島建設株式会社	8010001008703	外壁改修、建具改修、内装改修、防水改修、電気設備改修、機械設備改修	142	一般競争契約 (総合評価)	4	96.8%	